# 入園のしおり

## 重要事項説明書

2026年度

認定NPO法人ハーモニィカレッジ
認定こども園 ぱっか

# 目次

1. ぱっかの想い

1. 親と子どもが育ちあう場

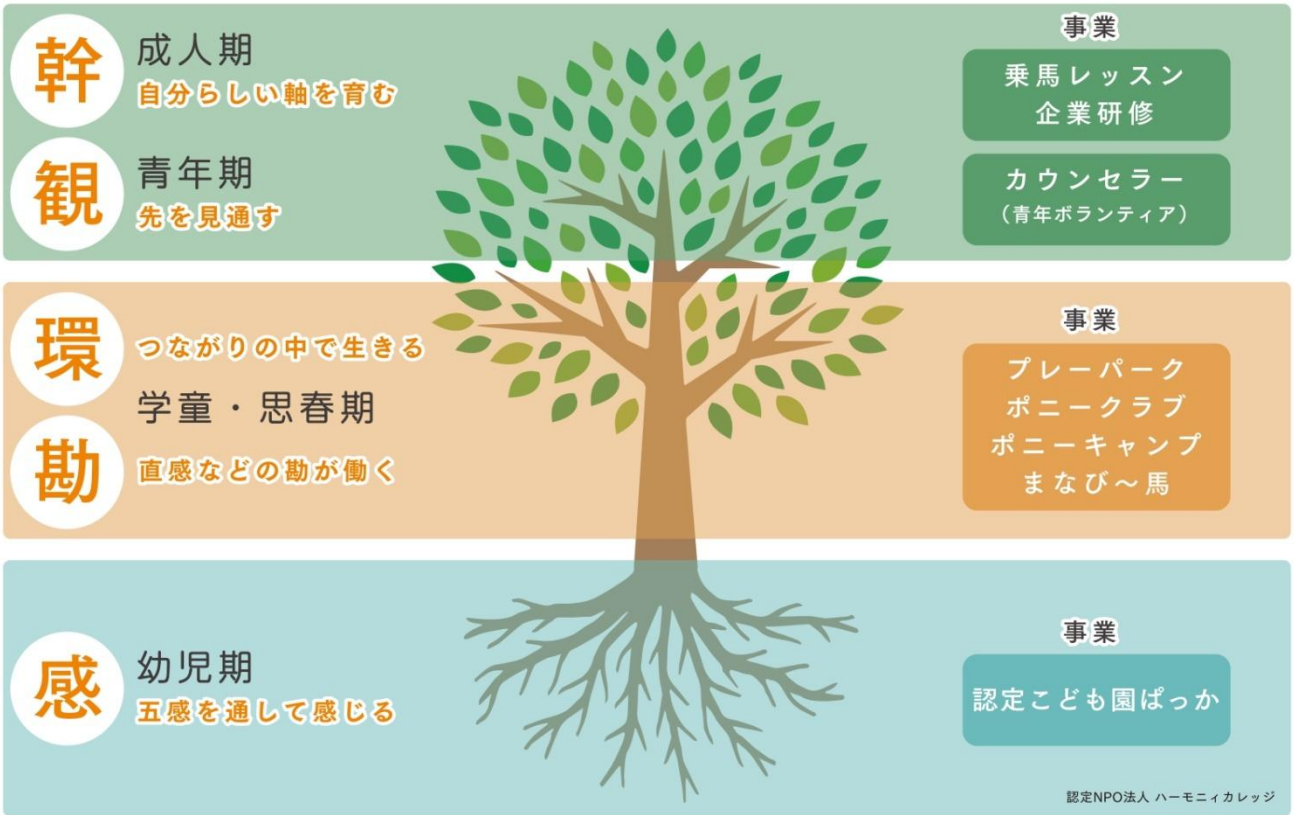
1. ぱっかの暮らし

1. 入園に関するご案内

ぱっかの想い

## ●法人メッセージ

## ー育みたいチカラと実施事業ー



## ● 創設者メッセージ

子どもたちの成長にとってまず大切なものは、
思いがけない出来事や気づきが生まれていく
「多様な体験、出会い」だと思う。
それが目を開き、心を育てていくのだと。

ハーモニィカレッジ創設者
石井 博史

# Sence of wonderと 安心感の中で
# 感 を ひらく

認定こども園ぱっかでは「感をひらく」を大切にしています。

いのちの根っこを育む幼児期に、感をひらく。

多様な環境、経験を通して、感じる。

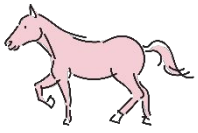
それをしていくことが、自分を肯定し、他者を受容し、

愛されているという感覚とともにしなやかに生き抜く底力の

ねっこになると信じています。

## ぱっかで**感をひらく**5つの環境と
## 大切にしていること

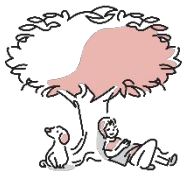
自然



馬

あそび

対話



暮らし

自分のありのまま

友達のありのままを

尊重し、ともに暮らす

自分で感じ、考え、

表現し、決める

# 感をひらく 馬との暮らしを通じて

# 非認知能力＝生きる力

100年を生き抜く「底力」に必要な非認知能力

自己肯定感

主体性

グリット（やりぬく力）

創造性

好奇心

自制心

柔軟性

想像力

共感力

コミュニケーション力

社会性

協働力

自信

馬たちは、気分だってむらがあるし、
それぞれ個性をもって、自分らしく生きている。
そんな馬との暮らしは
イベントではなく、日常にある。
その中で様々なことを教えてくれる。

馬との暮らしとは
馬の命の循環に参加するということ。
馬の命を守ることで、本当の命の大切さを実感する。

馬たちは言葉を話さない。
力では圧倒的に馬の方が強く、私たちは弱い。
馬は言葉は話さない。
その馬たちとどのように分かり合って暮らすのか。

彼らは馬語という言葉で私たちに
一生懸命語りかけている。
その馬語をわかろうとして
感じて、考えて、表現すること。
私たちの気持ちを馬に分かる
言葉で伝えようとすること。

それは愛がなければできず、
誰かを愛するということは
自分を愛することに還る。

だから私たちは馬と暮らすのだ。

## フィールド

野外で体を動かすことを
幼児期のうちに満喫することが
身体・心の健康につながります。

## 異年齢保育

異年齢混合で保育をすることで、
時にはお世話をし、
時にはお世話されるなど、
幅広い関係性が築かれます。

## 聴き合う場

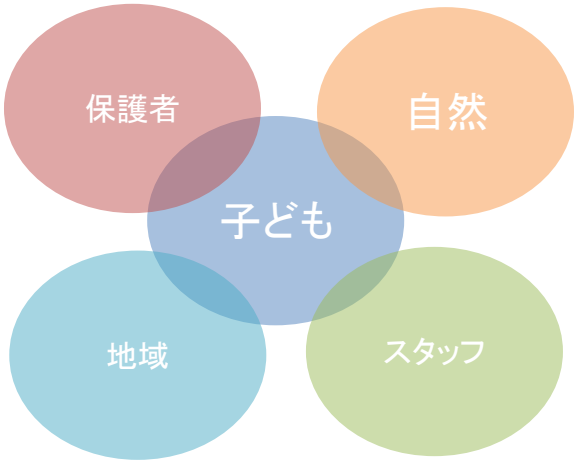
私たちは、自分のありのまま、他者のありのまま
を尊重するために、子ども、大人たちの
思いを聴きあうこと、対話を大事にします。

## 思い切り遊ぶ

主体的に、やってみたいことをやってみる。
子どもが「生きている」ことを実感することは
遊ぶことで満たすことができます。

親と子どもが共に育ちあう場

# 一緒に育ちあう




◂ 子どもを真ん中に。

子どもを真ん中に置いて、繋がり、育ちあうことが、ぱっかにかかわるすべてが「ありのまま」でいられる環境だと考えています。

## ▼「幹」自分らしい軸を育む

子どもが穏やかであることは、親が平穏であることが一番だと信じていますので、大人としての在り方も問われるのではないかと思います。 保護者さんたちにも、ぱっかでの暮らしを通して、自分らしい軸を育み、ありのままの自分、他者のありのままを大切にすることで、一緒に育ちあっていきたいと考えています。

●ぱっか主催プログラム

| 暮らし（日々の保育）“ケ”の日 | 行事（イベント）“ハレ”の日 | 保育（保護者×保育士） |
|---|---|---|
| ・持続的自然体験<br>・馬との暮らし<br>・多様な他者との関わり<br>・食<br>・四季の変化を感じる体験<br>・その他の感を育む体験 | ・入園式/卒園式<br>・田植え、梅掘り<br>・ぱっかりんぴっく<br>など | ・親ぱっか<br>・にじぱっか<br>など |

支援

運営

●保護者主催
・保護者会

協力

●スタッフ向けプログラム
・ミーティング
・園長会、副園長会への参加
・各種研修会への参加
・森のようちえんフォーラム参加
・勉強会の実施
など

ぱっかの保育のご理解と共に、一緒に子どもたちを育む良き
パートナーとしての関係を築いていきたいと願っています 。

## 親ぱっか

ありのままの自分、他者のありのままを大切にする
聴き合う場です。
『育児は育自』をテーマに、様々なプログラムを通して、
自分に出会い、育ち合う仲間に出会いましょう。

実施日時：10時～ 12時
（馬のこと、対話の会、ぱっかキャンプなど）
4月10日(金)  5月23日(土)  8月1日(土)
9月25日(金)  2月9日(火)  3月9日（火）
※にじぐみ×スタッフ座談会（年間3回予定中）

## にじぱっか

保護者の方がぱっかを思う存分味わう日。
子どもが五感を使って何を感じているのか
味わっていただくことで一緒に
育ちあいたいと考えています。
年間スケジュールでお知らせしますので
必ず1度はご参加ください。

実施日時：10：00～13：00（保育）
13：00～14：30（シェア会）
1回　5組限定予定

## 誕生会

その月の誕生児を一同にお祝いする会です。
みんなで成長や生まれてきてくれた事への感謝をし、
ぱっかで出会えた喜びを共有する会です。

実施日時：月1回　10時～11時

# こうまの日

親の平穏、幸せが子どもの安心や安定につながると
考えています。
親での自分ではなく、自分が「ありのままの自分」に
戻れるような場所を目指します。
親のやりたいがつながるような活動や、新しい気づきになるような活動を取り
入れながら実施していきます。

対象
ぱっかに在園していない親子
ぱっか在園の未就園の親子

実施日時：随時お知らせします。

ぱっかの暮らし

● 主な活動場所

## 空山ポニー牧場

〒689-1124
鳥取県鳥取市越路大谷 752-1
TEL|0858-72-2468
FAX|0858-72-2680

鳥取駅から車で約20分の場所にあるポニー牧場。日本海まで一望できる1haの野山に11頭のポニーが暮らしています。

## 自由楽舎ハーモニィシドレ

〒680-0864
鳥取県鳥取市吉成2丁目246番4

ぱっかの園舎。長期休暇中の保育、行事や荒天時の保育、勉強会や交流会など、必要に応じて使用します。
＊お車での来場方法に注意が必要です。
（別紙参照）

●フィールド

- トトロの森　　越路集落にある里山私有地

# ぱっかの行事

≪年間スケジュール予定≫

| | | ぱっか行事 | 親子参加 | にじぐみ行事 |
|---|---|---|---|---|
| 期 | 4月 | | 入園・進級式（10日） | 親ぱっか（10日）<br>にじぱっか（27日） |
| 期 | 5月 | 田植え | | 親ぱっか（23日） |
| 期 | 6月 | 梅ぼり | | にじぱっか（19日） |
| 期 | 7月 | そらぐみキャンプ<br>（3日～4日）<br>川遊び、流しそうめん | | 個人懇談 |
| | 8月 | | | 親ぱっか（1日） |
| 期 | 9月 | 稲刈り | ぱっかキャンプ | 親ぱっか（25日）<br>にじぱっか（30日） |
| 期 | 10月 | 収穫祭 | ぱっかりんぴっく | |
| 期 | 11月 | りんご狩り | 馬の参観日 | 個人懇談 |
| 期 | 12月 | | もちつき（11日） | 個人懇談 |
| 期 | 1月 | 麹作り | | にじぱっか（22日） |
| 期 | 2月 | 節分<br>味噌作り | | 個人懇談<br>親ぱっか（9日） |
| 期 | 3月 | | 卒園式（18日） | 親ぱっか（9日） |

●上記以外の定例行事

・身体測定・避難訓練　　月一回

・誕生会　　月一回第二火曜日10時～11時

・さあちゃんのわらべ歌・絵本の日　　季節に一回

# 一週間の流れ

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|
| 空山<br>（フリー） | 空山<br>（フリー） | 空山<br>（馬の日） | 空山<br>（クッキング）<br>季節に合わせて<br>回数変動あり | 空山<br>（フリー） |

| | |
|---|---|
| 7:30 | 預かり保育 |
| 9:00 | 登園<br>遊び/体調チェック |
| 9:45 | 朝の会<br>ぱっかの歌、絵本、手遊び、一日の流れの説明など<br>＊2歳児おやつ<br>遊び（自由選択）<br>馬のこと、フィールド、畑、クッキング、手仕事など |
| 11:45 | お昼ごはん |
| 12:30 | 遊び（自由選択）（5歳児）<br>お昼寝・休息（2～4歳児） |
| 14:00 | 片付け・帰りの会<br>絵本、一日の振り返り、明日のお知らせなど<br>＊おやつ |
| 15:00 | 午後ぱっか<br>お迎え・降園 |
| 16:30 | 馬餌<br>午後ぱっか |
| 18:00 | 以下　延長保育 |
| 18:30 | 保育終了 |

子どもたちの様子や話し合いを大切にしながら活動を進めているため
活動場所や内容は状況に応じて変更することがあります。

## ミーティング・学び

私たちがミーティングをする意味

ぱっかに関わる全ての人が、「ありのままでいられるために」行っています。

スタッフがミーティングで子どもをどう観ているのかをシェアし、考える時間を確保し、次の保育へ向かっていくことで、より深く子どもに寄り添い、受け止めることができると考えています。

・定例スタッフミーティング　　毎週水曜日

**・親ぱっか、にじぱっかの日は**　15時降園のご協力をお願いいたします。

・森のようちえんフォーラム

・各種研修・会議

＊ご理解・ご協力宜しくお願い致します。

## 午後ぱっか

教育標準時間：9時から15時まで

保育時間：それ以外の時間

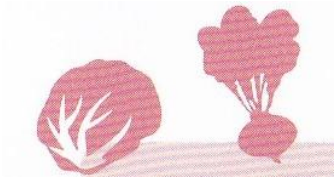
午後の保育時間のことを「午後ぱっか」と呼んでいます。ぱっかでの保育理念を大事にしながら、子どもがのびのびと過ごす時間としています。

夕方の馬餌、自由遊びなどをして過ごします。

## カウンセラー

大人でも子どもでもない
子どもたちとナナメの関係にたち、
子どもたちの心に寄り添う
大学生ボランティア。

子どもたちをポニーや自然、仲間たちと
つないでくれる名ガイド。
子どもたちの憧れになっています。



子どもたちの心身を形作る「食」をぱっかでは大切にしています。

食べものが人を作る。手塩にかけたものがおいしい。
手作りのものには人柄がでる。食べものには魂が宿る。

## 食育のとりくみ

### 給食

「命をいただいていること」
「食べることのできる心と身体があること」
「給食の奥に、その素材（命）を
育んでくれた方々がいること」
日々の給食を通して、
上記のことを子どもたちに伝えます。
そして「家族や身の回りの全てに
感謝をしていただく」
これが、私たちの給食への思いです。

### クッキング

みんなで火をおこし、米を炊き、味噌汁
を作って食べます。
食べるものを、自分でつくれることは子
どもたちにとって
大きな自信につながります。

四季折々の手仕事
麹、味噌、干し柿など

**献立**

シンプルだけど体によい、温かい、心のこもった食、生きる力に溢れた食を提供しています。

**食材**

可能な限り、地域の食材、無農薬、減農薬、オーガニックな食材を使用できるように努力しています。
＊仕入れの状況や、子どもたちの要望、行事食などについては、この限りではありません。

**主食**

お米　協力農家さんより頂いた減農薬米を主に使用しています。
パン　週に一度、地域の天然酵母パンのお店のパンを提供しています。

**調味料**

うま味調味料は使用していません。食品添加物をできるだけ避け、出汁も昆布や鰹、鶏ガラや野菜からつくっています。

**おやつ**

子どもたちの健康を大切にし、手作りのおやつも取り入れながら提供しています。
市販のものを使用する場合にも、添加物をできるだけ控えた、体にやさしいものを選んでいます。

人と出会い、自然と出会う体験の中で、
子どもたちは誇り、自信、他者への信頼を培い、
希望を育んでいく。
そこに原初の学ぶ心が育っていく。

# 入園に関するご案内